

**HAND HELD[®]
PRODUCTS**
a WelchAllyn[®] affiliate

IMAGETEA[™] 3800 *Hand Held Linear Imager*



ユーザーズガイド

「おことわり」

本書の内容は、事前に断り無く変更することがあります。変更部分についての質問等ございましたら、Welch Allyn Data Collection Inc.(以下「弊社」と略します)までお問い合わせください。なお、弊社は本書に関して一切の保証を行わないものといたします。

本書に誤り、不正確な記述があった場合、また本書の内容によって運用した結果発生した損害は、直接・間接を問わず、その事故に関する責任を負いかねますのでご了承ください。

本書は、著作権法の対象となります。本書の全部または一部について、Welch Allyn Data Collection Inc.,から文書による許諾を得ず複製、変更または他言語への翻訳を行うことは禁止されています。

© 2000-2001 Welch Allyn Data Collection Inc., All rights reserved.

Webアドレス : <http://www.handheld.com>

本製品に関する、日本国内におけるお問い合わせは、ご購入頂きました当社製品代理店窓口もしくは下記迄ご連絡願います。

ウェルチ・アレン・ジャパン株式会社
ハンドヘルド事業部 担当迄

本社
〒 101-005 東京都千代田区神田神保町 3-5-1
TEL 03-5212-7392 ・ FAX 03-3261-7372

ハンドヘルド事業部
〒 101-0051 東京都文京区小石川 1-4-1-605
TEL 03-5842-6325 ・ FAX 03-5842-6335
e-mail : hhp@courante.msn.com

第1章 はじめに

本マニュアルについて	1-1
スキャナIDラベル	1-2
スキャナの接続 (キーボードウェッジ・インタフェース)	1-3
プラグ&プレイ	1-4

第2章 ターミナルインタフェース

キーボードウェッジ接続	2-1
ターミナルID	2-2
サポートターミナルチャート	2-3
サポートターミナルチャート(続き)	2-4
国別キーボード	2-5
キーボードスタイル	2-6
キーボードの設定	2-7
シリアルポート接続	2-9
ボーレート	2-10
RS-232 データ長 : データビット・ストップビット・パリティ	2-11
RS-232 ハンドシェイク	2-13
ワンドエミュレーション接続	2-14
ワンドエミュレーション送信速度	2-15
ワンドエミュレーションの出力信号パターン	2-16
ワンドエミュレーションアイドル	2-16
PDF417 ワンドエミュレーション	2-17
データブロックサイズ	2-17
ブロック間ディレイ	2-18
チェック総数	2-18

第3章 出力

スキャンレート	3-1
ブザー音量	3-1
ブザー音質	3-2
スキャンポーティング	3-2
クワイエットゾーンの縮小	3-2
リリードディレイ(再読み込みディレイ)	3-3
グッドリードディレイ	3-3
トリガモード	3-4

第4章 データ編集

補足	4-1
プレフィックスとサフィックスの入力設定：	4-2
プレフィックス/サフィックスの削除	4-3
CRサフィックスを全てのシンボルに入力する	4-3
Code ID プレフィックスを全てのシンボルに入力する	4-3
プレフィックス/サフィックス用バーコード	4-4
シンボルチャート	4-5
Decimal to Hex to ASCII 換算チャート	4-5
ファンクションコード	4-6
キャラクタ間ディレイ	4-7
キャラクタ間ディレイのユーザー指定	4-8
ファンクション間ディレイ	4-9
メッセージ間ディレイ	4-9

第5章 シンボル

はじめに	5-1
All Symbolologies	5-1
企業向けシンボル	
Codabar (NW 7)	5-2
Code 39	5-6
インターリーブド 2 of 5	5-11
Code 93	5-13
Code 2 of 5	5-14
IATA Code 2 of 5	5-15
マトリックス 2 of 5	5-16
Code 11	5-17
Code 128	5-19
Telepen	5-21
小売業向けシンボル	
UPC A	5-23
UPC E	5-26
EAN/JAN 13	5-29
EAN/JAN 8	5-31
MSI	5-33

Plessey	5-35
RSS-14	5-36
RSS-14 Limited	5-37
RSS-14 Expanded	5-38
China Post Code	5-39
PDF 417シンボル	
PDF 417	5-40
PDF 417シンボル	5-41
MicroPDF417	5-42
EAN・UCC Composite Symbology	5-43

第6章 ビジュアルメニュー

はじめに	6-1
ビジュアルメニューの仮設定	6-1
ビジュアルメニューのインストール	6-2

第7章 インタフェースキー

キーボードファンクション	7-1
サポートされているインタフェースキー	7-3

第8章 ユーティリティ

テストコードIDの付加	8-1
-------------------	-----

第9章 初期設定

初期設定のリセット	9-1
初期設定索引	9-1

第10章 仕様

製品の仕様	10-1
スキャンマップIMAGETEAM 3800LR - 12 , - 13	10-2
スキャンマップIMAGETEAM 3800LX	10-3
スキャンマップIMAGETEAM 3800VHD	10-4
スキャンマップIMAGETEAM 3800PDF	10-5
スキャンマップIMAGETEAM 3800PDF	10-6
ケーブル仕様	10-7

規制・規格について
プログラミング・チャート
サンプルバーコード

第 1 章 はじめに

IMAGETEAM 3800 はウェルチ・アレン社製の高性能バーコードスキャナです。

本製品はハンディタイプのスキャナで、新機能を備えています。

リニアイメージングテクノロジーにより、鮮明でシャープなエイミング、高分解能、高速の読み取りが可能になりました。

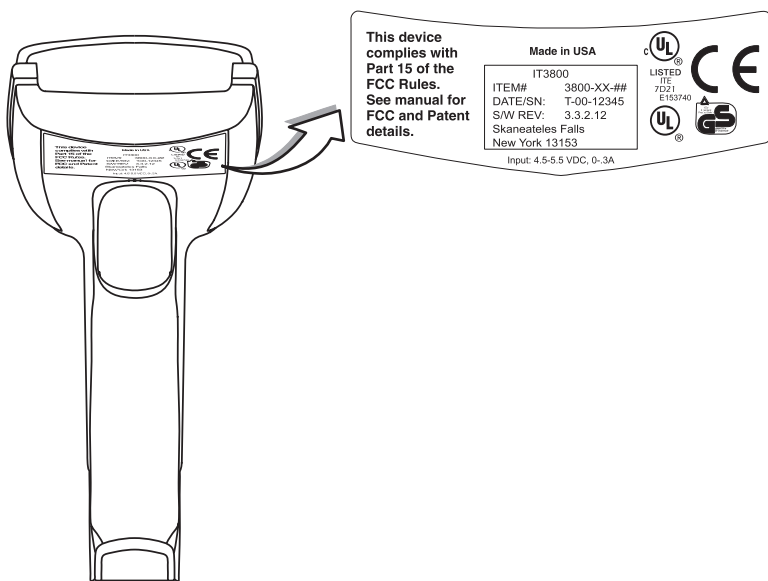
本製品は操作が簡単で、耐久性に優れています。また、ほとんどのスキャンングアプリケーションに対応しています。

本マニュアルについて

本書ではIMAGETEAM 3800のインストールの手順と、各プログラム設定について説明しています。また、製品仕様、保証内容、およびカスタマーサポートに関する情報が含まれています。

本製品は工場出荷時に、一般的な端末および通信装置用にプログラム設定されています。設定を変更する場合は、本書記載のバーコードをご使用ください。

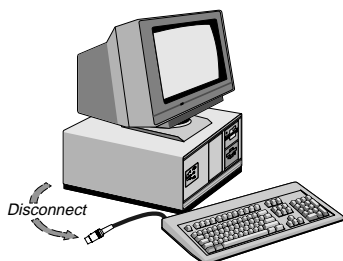
スキャナIDラベル



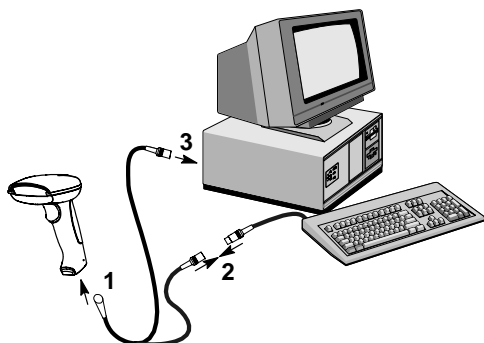
スキャナの接続(キーボードウェッジ・インタフェース)

本製品は、キーボードとパソコンの間に接続するキーボードウェッジインタフェースに対応しています。他に、シリアルポートや、ハンディターミナルに接続できます。以下はキーボードウェッジ接続の一例です。

1. 端末/コンピュータの電源をオフにします。
2. 端末/コンピュータからキーボードのケーブルをはずします。(図参照)



3. 適切なインタフェースケーブルを、スキャナおよび端末/コンピュータに接続します。



4. 端末/コンピュータの電源をオンにします。2回ピーツという音がします。
5. 本書裏表紙記載のバーコードを読み取り、スキャナの動作を確認してください。1回ピーツという音がします。

以上の設定で、スキャナが端末/コンピュータと通信する用意ができました。次に、バーコードデータが端末/コンピュータに正しく送信されるよう、インタフェースに合ったプログラム設定を行います。

キーボードウェッジインタフェースの場合は、2-1ページを参照してください。

シリアルポートを経由して接続している場合は、2-8ページを参照してください。

ワンドエミュレーションを使用している場合は、2-13ページを参照してください。

プラグ&プレイ

プラグ&プレイのバーコードで、インタフェースを簡易設定します。

最も代表的なインタフェースであるキーボードウェッジ用のバーコードです。キャリッジリターン(以下、CRとする)と改行(以下、LFとする)サフィックスのプログラムを行います。(日本 DOS/V PC には有効ではありません)



Keyboard Wedge Interface for
IBM PC AT and Compatibles
(Default)

次のバーコードはIBM XTとその互換機用です。CRとLFサフィックスのプログラムを行います。(日本 DOS/V PC には有効ではありません)



IBM XT and Compatibles

次のバーコードはIBM PS-2とその互換機用です。CRとLFサフィックスのプログラムを行います。(日本 DOS/V PC には有効ではありません)



IBM PS-2 and Compatibles

インテグラルデコードによって補助端子に接続している場合には、次のNon Decoded Output Laser Emulationのバーコードを使用します。スキャン速度を毎秒36回に設定し、出力信号パターンは白で、highに設定します。



Non Decoded Output
Laser Emulation

ほとんどのラップトップは、次のLaptop Direct Connectのバーコードの読み取りで、インテグラルキーボードの操作が可能になります。CRとLFサフィックスのプログラムを行います。



Laptop Direct Connect

RS-232 Interfaceのバーコードは、端末/コンピュータのシリアルポートに接続している場合に使用します。パラメータのプログラムを行います：

<u>オプション</u>	<u>設 定</u>
ボーレート	9600 bps
パリティ	Even
データフォーマット	データ 7bit、パリティーbit、ストップ 1bit(8 bitデータ)



RS-232 Interface

ワンドエミュレーション・モードでは、バーコードスキャナが読み取ったバーコードデータを一度デコードしてから、ワンドスキャナのバーイメージ信号を作成して送信します。Wand Emulation Same Code形式はUPC、EAN、コード128、およびインターリーブド 2 of 5のバーコードをそのまま送信しますが、他のシンボルは、コード 39に変換してから送信します。



Wand Emulation Same Code

次のWand Emulationのバーコードは、インタフェースをワンドエミュレーション・モードにセットし、バーコードデータをCode 39のシンボルに変換します。転送速度を毎秒25インチに設定し、出力信号パターンは黒で、highに設定します。



Wand Emulation (Code 39 Format)

注：3800 PDFをWand Emulationにセットし、PDF 417を読み取った場合、Code 128のバーパターンで出力します。

第 2 章 ターミナルインタフェース

キーボードウェッジ接続

本スキャナは、USAキーボード付属IBM PC ATでのキーボードウェッジインタフェース用に、あらかじめ設定されています。このインタフェースを使用している場合は再設定が不要です。次の第3章 出力に進んでください。

その他の端末に接続している場合や、キーボードウェッジの設定を変更したい場合は、次のバーコードを読み取ります。



IBM PC AT and Compatibles
with CR, LF suffix

ターミナルID

お使いのインターフェースが標準のPC ATではない場合は、サポートターミナルチャート(2-3)を参照し、使用しているターミナルIDのナンバーを確認してください。始めに下のTerminal IDのバーコードを読み取り、続けて本書最終ページ記載のプログラミングチャートから、先ほど確認したターミナルIDナンバーを順に読み取ります。最後にSaveを読み取り、設定を保存します。

例：お使いの端末がIBM PS/2の場合、ターミナルIDは002になります。下のTerminal IDバーコードを読み取り、最終ページ記載のプログラミングチャートから0, 0, 2を読み取った後、Saveします。

保存前に数字バーコードの読み取りを誤った場合は、最終ページ記載のDiscardバーコードを読み取って無効にし、正しい数字バーコードを再読み取りしてSaveします。



Terminal ID



Save

サポートターミナルチャート

端末	モデル	ターミナルID
Apple Mac	Mac Classic, SE SE30, II (All)	049**
Apple Mac Powerbook	5300 Series (Portable PC)	049**
DEC	VT510, 520, 525 (PC style)	005
DEC	VT510, 520, 525 (DEC style LK411)	104
Esprit	200, 400	005
Heath Zenith	PC, AT	090
HP	Vectra	003
HP Vectra	AT	023
IBM	AT/ XT	001
IBM	PS/2 25, 30, 77DX2	002
IBM	PS/2 30-286, 50, 55SX, 60, 70, 70-061, 70-121, 80	003*
IBM 102 key	3161,3162, 3163, 3191, 3192, 3194, 3196, 3197, 3471, 3472, 3476, 3477	006
IBM 122 key	3191, 3192, 3471, 3472	007
IBM 122 key	3196, 3197, 3476, 3477 3486, 3482, 3488	008
IBM 122 key	3180	024
IBM 122 key	3180 data entry keyboard	114
IBM DOS/V 106 key	PC & Workstation	102
IBM SurePOS	USB Hand Held Scanner	128****
IBM SurePOS	USB Tabletop Scanner	129****
IBM Thinkpad	360 CSE, 340, 750	097
IBM Thinkpad		106
IBM Thinkpad	365, 755CV	003
I/O 122 key	2676D, 2677C, 2677D	008
ITT	9271	007
Lee Data	IIS	007
NEC	98XX Series	103
Olivetti	M19, M200	001
Olivetti	M240, M250, M290, M380, P500	003
RS-232 True		000***
RS232 TTL		000
Serial Wedge		050
Silicon Graphics	Indy, Indigoll	005

* = 初期値 - 12モデルに適用

** = - 12モデルのみ適用

*** = - 13モデルのみ初期値として適用

**** = - 15モデルのみ設定可能

サポートターミナルチャート(続き)

端末	モデル	ターミナルID
USB converter		124
USB PC Keyboard		124
USB Mac Keyboard		125
Telex 88 key	078, 078A, 79, 80, 191, 196, 1191, 1192, 1471, 1472, 1476, 1477, 1483	025
Telex 88 key	Data Entry Keyboard	112
Telex 102 key	078, 078A, 79, 80, 191, 196, 1191, 1192, 1471, 1472, 1476, 1477, 1483	045
Telex 122 key	078, 078A, 79, 80, 191, 196, 1191, 1192, 1471, 1472, 1476, 1477, 1483	046
Wand Emulation		061

国別キーボード

使用している言語に適したキーボード設定を行います。始めに下のProgram Keyboard Countryのバーコードを読み取り、最終ページ記載のプログラミングチャートから国の番号を読み取ります。最後にSaveバーコードを読み取って、設定を保存します。

下記の記号は、アメリカ合衆国以外を対象とした国向けのスキャナには、対応していません。

@ | \$ # { } [] = / ' \ < > ~



Program Keyboard Country

国別コード	スキャン	国別コード	スキャン
Belgium	1	Italy	5
Denmark	8	Norway	9
Finland	2	Spain	10
France	3	Switzerland	6
Germany/Austria ...	4	USA (Default)	0
Great Britain	7	Japan	0



Save

キーボードスタイル

Caps LockやShift Lock等のキーボードスタイルの設定を行います。

初期設定：Regular

通常、Caps Lockキーがオフの場合はRegularを使用します。



* Regular

通常、Caps Lockキーがオンの場合は、Caps Lockを使用します。



Caps Lock

通常、Shift Lockキーがオンの場合は、Shift Lockを使用します。(U.S.【米国】キーボードでは通常使われません。)



Shift Lock

Caps Lockキーのオン / オフを切り換える場合は、Automatic Caps Lockを使用します。ソフトウェアがCaps Lockの使用状況を確認し、対応します。(ATまたはPS/2のみ) Automatic Caps Lockは、Caps Lockの状態を確認する機能を持つLEDを使用している場合に有効です。



Automatic Caps Lock

外付けのキーボード(IBM ATまたは相当品)を使用していない場合には、Emulate External Keyboardを読み取ります。



Emulate External Keyboard

キーボードの設定

CTRL+ASCIIコードおよびターボモード等の特殊な機能を設定します。

CTRL+ASCII Mode On - 00から1Fの値には、複数のキーを組合せて、アスキー制御コードとして送信します。NO TAG、CTRL+ ASCII Values参照

初期設定：Off



Control + ASCII Mode On



* Control + ASCII Mode Off

Turbo Mode - IBM ATへのキャラクタの送信を高速化します。(IBM AT機のみ)
端末でキャラクタの読み落としがある場合は、使用しないでください。

初期設定：Off



Turbo Mode On



* Turbo Mode Off

Numeric Keypad Mode - テンキーで入力したように数字を送信します。

初期設定：Off



Numeric Keypad Mode On



* Numeric Keypad Mode Off

Automatic Direct Connect - スキャナ接続時にキーボードが使用できないラップトップをお使いの場合に読み取ります。また、IBM AT型端末を使用している場合や、そのシステムで文字の読み落としがある場合にも使用します。

初期設定：Off



Automatic Direct Connect Mode On



* Automatic Direct Connect Mode Off

シリアルポート接続

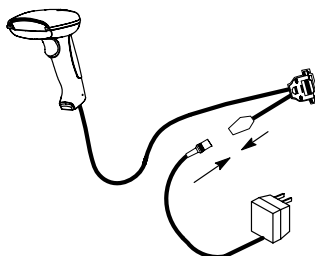
RS-232プロトコルを使用するシリアルポート経由でデータを送信する場合は、スキャナと端末間の、通信パラメーターの設定が必要です。

次のRS-232 Interfaceを読み取り、RS-232のインストールを行います。



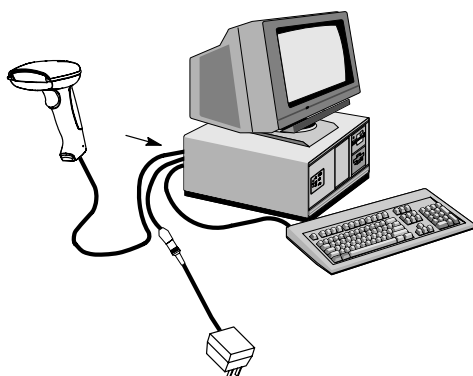
RS-232 Interface

1. 端末 / コンピュータの電源をオフします。
2. 適切なインタフェースケーブルを、スキャナに接続します。



注：スキャナが正常に作動するよう、お使いの端末 / コンピュータに適したケーブルをご用意ください。

3. ケーブルのコネクタを端末 / コンピュータのシリアルポートに差し込みます。コネクタ付属のネジを締めて固定します。



4. パワーアダプタを電源に差し込みます。
5. スキャナの接続を確認してから端末 / コンピュータの電源をオンにします。

ボーレート

スキャナから端末へのデータ送信速度を指定します。
ホストをスキャナと同じボーレートに設定してください。

初期値：9600



300



600



1200



2400



4800



* 9600



19200



38400

RS-232 データ長：データビット・ストップビット・パリティ

データビットは、1データあたり7または8ビットに設定します。アプリケーションがASCII Hexキャラクタの0から7F小数(文字、数値、句読点)にのみ対応している場合は、7データビットを選択してください。フルアスキーの対応しているアプリケーションについては、1データあたり8データビットを選択して下さい。初期値：7

ストップビットは1または2に設定します。初期値：1

パリティは、ビット数からデータの誤りを検出します。初期設定：Even



* 7 Data, 1 Stop, Parity Even



7 Data, 1 Stop, Parity None



7 Data, 1 Stop, Parity Odd



7 Data, 1 Stop, Parity Mark



7 Data, 1 Stop, Parity Space



7 Data, 2 Stop, Parity Even



7 Data, 2 Stop, Parity None



7 Data, 2 Stop, Parity Odd

RS-232 データ長：データビット・ストップビット・パリティ
(続き)



7 Data, 2 Stop, Parity Mark



7 Data, 2 Stop, Parity Space



8 Data, 1 Stop, Parity Even



8 Data, 1 Stop, Parity None



8 Data, 1 Stop, Parity Odd



8 Data, 1 Stop, Parity Mark



8 Data, 1 Stop, Parity Space

RS-232 ハンドシェイク

シリアルインタフェース上の通信機器間で、データの送受信を行う場合に必要な規格のことをハンドシェイクと言います。

初期設定 : RTS/CTS Of, XON/XOFF Off, ACK/NAK Off



RTS/CTS On



* RTS/CTS Off



XON/XOFF On



* XON/XOFF Off



ACK/NAK On



* ACK/NAK Off

ワンドエミュレーション接続

ワンドエミュレーション・モードでは、スキャナが読み取ったバーコードデータを一度デコードしてから、ワンドスキャナのバーイメージ信号を作成して送信します。

Code 39 Formatはシンボルを全てCode 39に変換します。

Same Code Formatは、UPC、EAN、Code 128、および インターリード 2 of 5のバーコードをそのまま送信しますが、その他のシンボルはCode 39に変換します。

次のコードは、転送速度を毎秒25インチに設定し、出力信号パターンは黒で、highに設定します。

初期設定：Code 39 Format



* Code 39 Format



Same Code Format

ワンドエミュレーション送信速度

送信速度は、キャラクタの読み落としなくデータを受信する端末の能力により、制限されます。

初期値：25 inches/second



10



*25



40



80



120



150



200

ワンドエミュレーションの出力信号パターン

パターンは、標準である黒バーがhighの状態で送信するか、逆に白バーがhighの状態
で送信します。

初期設定：Black High



* Black High



White High

ワンドエミュレーションアイドル

データの送信が行われていない状態をアイドルと言います。

ワンドエミュレーション・モード時は、スキャナが接続されている機器のアイドル状態
と同じ設定にします。

初期設定：Idle High



* Idle High



Idle Low

PDF417 ワンドエミュレーション

注：以降のバーコードは、3800PDF-12 のみ有効です。

データブロックサイズ

PDF-417のデータを小さなブロックに変換し、バッファが過密になるのを防ぎます。

初期値：60



20



40



* 60



80

ブロック間ディレイ

データのブロック間にディレイを設定します。初期値：50ms



5ms



* 50ms



150ms



500ms

チェック総数

計算されたチェックキャラクタを、全てのメッセージの末尾に付加します。これらのチェックキャラクタは、Exclusive-ORed が0x00 (00H)になる場合に発生するキャラクタを示します。初期設定：Off



On



* Off

第 3 章 出力

スキャンレート

スキャンレートを調節して、読み取り時の電流を変えます。(待機電流は変わりません)

初期値 : 270 s/s

スキャンスピード	スタンバイ	スキャンング	ピーク
270 s/s	125 mA	275 mA	300 mA
135 s/s	125 mA	180 mA	300 mA
67 s/s	125 mA	150 mA	300 mA



* 270 s/s



135 s/s



67 s/s

ブザー音量

初期設定 : High



* High



Medium



Low



Off

ブザー音質

初期設定：Normal



* Normal Beep



Short Bip

スキャンボーディング

端末に送信する前のバーコードの読み取り照合回数を設定します。

Voting Normalは、第8章 初期設定に記載されているシンボルの初期値を設定します。

Voting Highは、現在設定されている回数の2倍に設定します。

初期設定：Voting Normal



* Voting Normal



Voting High

クワイエットゾーンの縮小

AIMガイドラインで定められているクワイエットゾーンを縮小することによって、標準サイズ以外のバーコードの読み取りが可能になります。この機能は全てのシンボルに使用できます。

初期設定：Don't Reduce Quiet Zone



* Don't Reduce Quiet Zone



Reduce Quiet Zone

リリードディレイ(再読み込みディレイ)

一つのバーコードを2回目に読み取るまでの間隔を設定します。リリードディレイを設定することにより、同じバーコードを誤って読み取ることを防ぎます。ディレイを長く保つことで、POSでの読み取りエラーを最小限におさえます。繰り返し読み取りが必要な場合は、ディレイを短くします。 初期設定：Short

リリードディレイは、自動トリガモード時のみ作動します。(3-4ページ参照)



* Short (0.175s)



Medium (0.45s)



Long (1.0s)



Extra Long (2.0s)

グッドリードディレイ

一つのバーコードを読み取った後で別のバーコードを読み取るまでの間隔を、最小に設定します。 初期設定：No Delay



* No Delay (0s)



Short Delay (0.5s)



Medium Delay (1.0s)



Long Delay (1.5s)

トリガモード

初期設定 : Manual/Serial Trigger

読み取りを行うときは、トリガースイッチを引くか、シリアルコマンドを送ることができます。マニュアルトリガーで使用するとき、トリガースイッチを引いている間、読み取り用LEDは点灯し、トリガースイッチを離すか、読み取りが完了すると読み取り用LEDは消灯します。

シリアルコマンドで点灯コマンドが送られると、読み取り完了もしくは、消灯コマンドが送られるまで、読み取り用LEDは点灯しますが、シリアルトリガータイムアウトで任意に読み取り用LEDの点灯時間が設定されている場合は、読み取りが完了しなくても、読み取り用LEDは設定された時間が経過すると消灯します。尚、タイムアウトが設定された時間内でも消灯コマンドが送られると、読み取り用LEDは消灯します。



Manual/Serial Trigger

Serial Trigger Time Out : シリアルコマンドを使用してトリガー制御を行うときに使用します。点灯コマンドを受信すると設定された時間、読み取り用LEDが点灯します。

点灯コマンド	SYN	T	CR
消灯コマンド	SYN	U	CR

タイムアウトの設定は、末尾プログラミングチャートより0～1200の値を読ませて設定します。

0を読んだとき、タイムアウトは無効となります。

1～1200は、その設定値の0.25秒倍が、タイムアウトの時間になります。設定終了はSAVEを読ませてください。

<例> : タイムアウト時間の計算方法

$$1 = 0.25 \text{秒} \times 1 = 0.25 \text{秒}$$
$$500 = 0.25 \text{秒} \times 500 = 125 \text{秒}$$



Serial Trigger Time Out

Manual Trigger, Low Power : トリガが引かれるまで、スリープ状態 (5uA)になります。トリガが引かれると、スリープ状態が解除され低出力モードで作動します。(スキャナを使用していない状態が、Low Power Time Outで設定した時間以上続くと、スリープ状態になります。)スリープ状態から最初にトリガが引かれたとき、操作が少し遅れますが、低出力モード時の作業には問題ありません。



Manual Trigger, Low Power

注 : Manual Trigger, Low Powerはキーボードウェッジでは使用できません。

Low Power Time Out : スリープするまでの時間を設定します。Low Power Time Out バーコードを読み取った後、最終ページ記載の数値バーコードから任意の時間(0から300秒まで)を読み取り、Saveします。 初期設定 : 2分

注 : 保存前に数字バーコードの読み取りを誤った場合は、最終ページ記載のDiscardバーコードを読み取って無効にし、正しい数字バーコードを再読み取りしてSaveします。



Low Power Time Out

Automatic Trigger : フルパワーで継続的に読み取りを行います。



Automatic Trigger

Presentation Mode : スキャナにバーコードが提示されるまで、LEDが消えた状態になります。バーコードが提示されると、自動的にLEDが点灯し、読み取りを行います。一般的なオフィスや店頭の明かりで、バーコードを検知します。

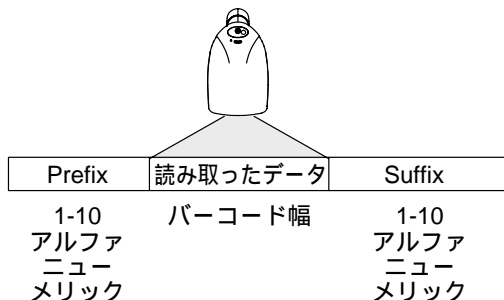


Presentation Mode

第 4 章 データ編集

バーコードを読み取ると、バーコードデータと付加的情報（ユーザー定義されたデータ）がホストに送信されます。これらを合わせて「メッセージストリング」と言います。この章では、その情報を、メッセージストリングに組込むために必要なことを記述しています。

プレフィックス(Prefix : データ頭部への付加記号)とサフィックス(Suffix : データ後部への付加記号)のキャラクタは、読み取ったデータの前後に送信されます。そのとき、全シンボルに送信するか、特定のシンボルにだけ送信するかを指示できます。次の図にメッセージストリングの分類を示します。



補足

- 常にメッセージストリングを形成する必要はありません。初期設定を変更する場合のみ、この章をお読み下さい。
初期設定 : None
- プレフィックスやサフィックスは、一つのシンボルまたは全シンボルに、入力 / 削除できます。
- プレフィックスやサフィックスを入力する場合は、ASCIIチャート(4-5)から引用してください。Code I.D.とAIM I.D.も合わせて入力できます。
- 一回の動作で、複数のシンボルに対するプレフィックス/サフィックスの設定を結合することができます。
- 出力機器に表示させたい順に、プレフィックスとサフィックスを入力してください。

プレフィックスとサフィックスの入力設定：

操作手順

1. Add PrefixまたはAdd Suffixのバーコードを読み取ります。(4-4ページ)
2. シンボルチャートからプレフィックス/サフィックスを入力したいシンボルを選択し、2桁のHex値を確認します。
3. 最終ページ記載のプログラミングチャートから、前項で確認した2桁の数字を読み取ります。全シンボルを選択した場合は、9,9と読み取ります。
4. Decimal to Hex to ASCII 換算チャートから入力したいプレフィックス/サフィックスを選択し、Hex値を確認します。
5. 最終ページ記載のプログラミングチャートから、前項で確認した2桁の数字を読み取ります。
注：複数のプレフィックス/サフィックスを入力する場合は、4と5を繰り返し行います。
注：Code I.D.を入力するには、5, C, 8, 0を読み取ります。
AIM I.D.を入力するには、5, C, 8, 1を読み取ります。
バックスラッシュ(\)を入力するには、5, C, 5, Cを読み取ります。
6. Saveを読み取って保存/終了するか、Discardを読み取って保存しないで終了します。

別のシンボルにプレフィックス/サフィックスの入力設定を行う場合は、1から6までを繰り返します。

例：サフィックスを特定のシンボルに入力する場合

CRサフィックスをUPCに入力するには

1. Add Suffixを読み取る。
2. シンボルチャートでUPCのHex値を確認する。
3. 最終ページ記載のプログラミングチャートから6と3を読み取る。
4. Decimal to Hex to ASCII 換算チャートからCRのHex値を確認する。
5. プログラミングチャートから0とDを読み取る。
6. Saveを読み取って保存/終了するか、Discardを読み取って保存しないで終了する。

プレフィックス / サフィックスの削除

シンボルのプレフィックス / サフィックスを、個別もしくは全部削除します。Clear One Prefix / Clear One Suffixのバーコードで、一つのプレフィックス / サフィックスを削除します。Clear All Prefixes / Clear All Suffixesのバーコードで、一つのシンボルに設定されている全てのプレフィックス / サフィックスを削除します。

1. Clear One PrefixまたはClear One Suffixのバーコードを読み取ります。
2. シンボルチャートからプレフィックス / サフィックスを削除したいシンボルを選択し、2桁のHex値を確認します。
3. 最終ページ記載のプログラミングチャートから、前項で確認した2桁の数字を読み取ります。全シンボルを選択した場合は、9, 9を読み取ります。

この変更は自動的に保存されます。

CRサフィックスを全てのシンボルに入力する

CRサフィックスを全てのシンボルに入力したい場合は、次のバーコードを読み取ります。現在設定されているサフィックスを全て削除した後、CRサフィックスを全てのシンボルに入力するように設定します。



Add CR Suffix
All Symbologies

Code ID プレフィックスを全てのシンボルに入力する

次のバーコードで、デコードされたシンボルの前にCode I.D.を入力するかを設定します。(シンボルチャートのCode I.D.を参照)現在設定されているプレフィックスを全て削除した後、Code I.D. プレフィックスを全てのシンボルに入力するように設定します。



Add Code I.D. Prefix to
All Symbologies

プレフィックス/サフィックス用バーコード



Add Prefix



Clear One Prefix



Clear All Prefixes



Add Suffix



Clear One Suffix



Clear All Suffixes



Save



Discard

シンボルチャート

シンボル	Code ID	AIM ID	Hex 値	シンボル	Code ID	AIM ID	Hex 値
China Postal	q	X0	71	Interleaved 2 of 5	e	J]0	65
Codabar	a]F0	61	Matrix 2 of 5	m]X0	6D
Code 2 of 5	f]S0	66	MicroPDF417	R]L0	52
Code 11	h]H0	68	MSI	g]M0	67
Code 39	b]A0	62	PDF417	r]L0	72
Code 39 PARAF	w]X0	77	Plessey	n]P0	6E
Code 93	i]G0	69	RSS-14	y]e0	79
Code 128	j]C0	6A	Telepen	t]B0	74
EAN/JAN	d]E0	64	UPC	c]E0	63
EAN-UCC Composit	y]e0	79	All Symbologies*			99
IATA 2 of 5	f]R0	66				

* Prefix / Suffixを特定のシンボルに入力設定する場合は、All Symbologiesの機能が無効になります。All Symbologiesの使用は、Prefix / Suffixの設定時のみ可能です。

Decimal to Hex to ASCII換算チャート

DEC	Hex	ASCII	DEC	Hex	ASCII	DEC	Hex	ASCII	DEC	Hex	ASCII
0	00	NUL	32	20	SP	64	40	@	96	60	'
1	01	SOH	33	21	!	65	41	A	97	61	a
2	02	STX	34	22	"	66	42	B	98	62	b
3	03	ETX	35	23	#	67	43	C	99	63	c
4	04	EOT	36	24	\$	68	44	D	100	64	d
5	05	ENQ	37	25	%	69	45	E	101	65	e
6	06	ACK	38	26	&	70	46	F	102	66	f
7	07	BEL	39	27	'	71	47	G	103	67	g
8	08	BS	40	28	(72	48	H	104	68	h
9	09	HT	41	29)	73	49	I	105	69	i
10	0A	LF	42	2A	*	74	4A	J	106	6A	j
11	0B	VT	43	2B	+	75	4B	K	107	6B	k
12	0C	FF	44	2C	,	76	4C	L	108	6C	l
13	0D	CR	45	2D	-	77	4D	M	109	6D	m
14	0E	SO	46	2E	.	78	4E	N	110	6E	n
15	0F	SI	47	2F	/	79	4F	O	111	6F	o
16	10	DLE	48	30	0	80	50	P	112	70	p
17	11	DC1	49	31	1	81	51	Q	113	71	q
18	12	DC2	50	32	2	82	52	R	114	72	r
19	13	DC3	51	33	3	83	53	S	115	73	s
20	14	DC4	52	34	4	84	54	T	116	74	t
21	15	NAK	53	35	5	85	55	U	117	75	u
22	16	SYN	54	36	6	86	56	V	118	76	v
23	17	ETB	55	37	7	87	57	W	119	77	w
24	18	CAN	56	38	8	88	58	X	120	78	x
25	19	EM	57	39	9	89	59	Y	121	79	y
26	1A	SUB	58	3A	:	90	5A	Z	122	7A	z
27	1B	ESC	59	3B	;	91	5B	[123	7B	{
28	1C	FS	60	3C	<	92	5C	\	124	7C	
29	1D	GS	61	3D	=	93	5D]	125	7D	}
30	1E	RS	62	3E	>	94	5E	^	126	7E	~
31	1F	US	63	3F	?	95	5F	_	127	7F	DEL

ファンクションコード

読み取ったデータがファンクションコードを含む場合、この機能が作動していると、ファンクションコードは端末に送信されます。これらのファンクションコードは第7章の表「サポートされているインタフェースキー」に併記されています。

キーボードウェッジ・モードの場合は、データはキーコードに変換されてから送信されます。



* Enable



Disable

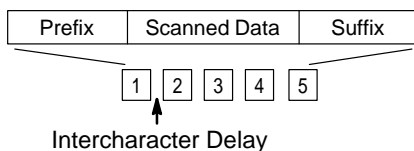
データの送信速度が速すぎると、端末でキャラクタを読み落とすことがあります。キャラクタ間、ファンクション間、およびメッセージ間のディレイは送信速度を低下させますが、エラーを減らします。

各ステップのディレイは5ミリ秒です。最大99ステップまで設定できます。(1ステップ = 5ミリ秒)

キャラクタ間ディレイ

最大495ミリ秒のディレイが、読み取ったデータのキャラクタ間に設定できます。1ステップを5ミリ秒として、最大99ステップまで設定できます。次のIntercharacter Delay バーコードを読み取り、最終ページから任意のステップ数を数字バーコードで読み取り Saveします。

注：保存前に数字バーコードの読み取りを誤った場合は、最終ページ記載のDiscardバーコードを読み取って無効にし、正しい数字バーコードを再読み取りしてSaveします。



これらのディレイを解除する場合は、Intercharacter Delayバーコードを読み取り、ステップ数を00にして、Saveします。

キャラクタ間ディレイのユーザー指定

最大495ミリ秒のディレイが、読み取ったデータ中特定のキャラクタ間に設定できます。1ステップを5ミリ秒として、最大99ステップまで設定できます。Delay Lengthのバーコード、ステップ数、Saveの順に読み取ります。

次にCharacter to Trigger Delayを読み取り、ディレイを設定するASCIIキャラクタのHex値を確認し、数値を読み取ります。(Decimal to Hex to ASCII 換算チャート参照)

注：保存前に数字バーコードの読み取りを誤った場合は、最終ページ記載のDiscardバーコードを読み取って無効にし、正しい数字バーコードを再読み取りしてSaveします。



Delay Length



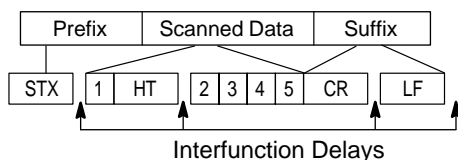
Character to Trigger Delay

これらのディレイを解除する場合は、Delay Lengthを読み取り、ステップ数を00にして、Saveします。

ファンクション間ディレイ

最大495ミリ秒のディレイが、メッセージストリングのセグメント間に設定できます。1ステップを5ミリ秒として、最大99ステップまで設定できます。次のInterfunction Delayバーコード、ステップ数、Saveの順に読み取ります。

注：保存前に数字バーコードの読み取りを誤った場合は、最終ページ記載のDiscardバーコードを読み取って無効にし、正しい数字バーコードを再読み取りしてSaveします。



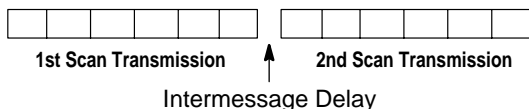
Interfunction Delay

これらのディレイを解除する場合は、Interfunction Delayバーコードを読み取り、ステップ数を00にして、Saveします。

メッセージ間ディレイ

最大495ミリ秒のディレイが、読み取ったデータ間に設定できます。1ステップを5ミリ秒として、最大99ステップまで設定できます。次のIntermessage Delayバーコード、ステップ数、Saveの順に読み取ります。

注：保存前に数字バーコードの読み取りを誤った場合は、最終ページ記載のDiscardバーコードを読み取って無効にし、正しい数字バーコードを再読み取りしてSaveします。



Intermessage Delay

これらのディレイを解除する場合は、Intermessage Delayバーコードを読み取り、ステップ数を00にして、Saveします。

第 5 章 シンボル

はじめに

この章では、スキャナを企業 / 小売業向けシンボルに設定する方法を説明します。
次のシンボルについての説明を含みます。

- All Symbolologies
- China Post Code
- Codabar
- Code 2 of 5
- Code 11
- Code 39
- Code 39
- Code 93
- Code 128
- EAN/JAN
- EAN・UCC Composite
- IATA Code 2 of 5
- Interleaved 2 of 5
- Matrix 2 of 5
- MicroPDF417
- MSI
- PDF417
- PARAF Plessey
- RSS-14
- Telepen
- UPC

All Symbolologies

全てのシンボルの読み取り許可 / 禁止ができます。



All Symbolologies On



All Symbolologies Off

企業向けシンボル

Codabar (NW 7)

<Default All Codabar Settings> :

コーダバー全ての設定を初期設定にもどします。。



Codabar (NW 7)



* On

Off



スタート/ストップキャラクタ

スタート/ストップキャラクタは、バーコードシンボルの先頭および末尾を識別するために使用されます。

スタート/ストップキャラクタを送信するかないかを指定します。

初期設定 : Don't Transmit



Transmit

* Don't Transmit



企業向けシンボル

Codabar (NW 7) (続き)

チェックキャラクタ

コーダバーチェックキャラクタは、「モジュラス」を使用します。

モジュラス16を使用したコーダバーのバーコードのみ、読み取るように設定できます。

初期設定：No Check Character

No Check Characterは、バーコードデータ読み取り / 送信時のチェックキャラクタの有無に関係無く全てのキャラクタを出力します。

Validate Modulo 16 and Transmitのバーコードを使用すると、チェックキャラクタを含むコーダバーバーコードだけを読み取り、データの末尾につけて送信します。

Validate Modulo 16, but Don't Transmitのバーコードを使用すると、チェックキャラクタを含むコーダバーバーコードだけを読み取りますが、チェックキャラクタは送信されません。



* No Check Character



Validate Modulo 16, but
Don't Transmit



Validate Modulo 16 and Transmit

Codabar (NW 7) (続き)

連結機能

コーダバーではシンボルの連結が可能です。

「D」のストップキャラクタを含むシンボルに対して、「D」のスタートキャラクタを含むシンボルを検索し連結します。データの連結後は、「D」のキャラクタは省略されます。

初期設定 : On



Requireを使用すると、独立したコーダバーシンボルを誤ってデコードすることを防ぎます。

連結機能



*On

Off



Require

Codabar (NW 7) (続き)

バーコード桁

読み取り可能なバーコード桁を設定します。最小値と最大値を同じにすると、常に一定の桁でデータを読み取るので、誤読率が低くなります。

例： 最小 = 09、最大 = 20 に設定する

 キャラクター数が9から20のバーコードのみデコードします。

例： 最小 = 15、最大 = 15 に設定する

 キャラクター数が15のバーコードのみデコードします。

初期値を変更する場合は、次のバーコードを使用し、最終ページから2桁の数値を読み取ってSaveします。可能な値：2-60

初期値：Minimum(最小値) = 4, Maximum(最大値) = 60

注：保存前に数字バーコードの読み取りを誤った場合は、最終ページ記載のDiscardバーコードを読み取って無効にし、正しい数字バーコードを再読み取りしてSaveします。



Minimum (Default = 4)

Maximum (Default = 60)



企業向けシンボル

Code 39

<Default All Code 39 Settings> :

Code 39全ての設定を初期設定にもどします。。



Code 39



* On

Off



スタート/ストップキャラクタ

スタート/ストップキャラクタは、バーコードシンボルの先頭および末尾を識別するために使用されます。

スタート/ストップキャラクタを送信するかしないかを指定します。

初期設定 : Don't Transmit



Transmit

* Don't Transmit



企業向けシンボル

Code 39(続き)

チェックキャラクタ

No Check Characterは、バーコードデータ読み取り / 送信時のチェックキャラクタの有無に関係無く全てのキャラクタを出力します。

Validate, but Don't Transmitバーコードを使用すると、チェックキャラクタを含むCode 39バーコードだけを読み取りますが、チェックキャラクタは送信されません。

Validate and Transmitバーコードを使用すると、チェックキャラクタを含むCode 39バーコードだけを読み取り、データの末尾につけて送信します。



* No Check Character

Validate, but Don't Transmit



Validate and Transmit

企業向けシンボル

Code 39(続き)

バーコード桁

読み取り可能なバーコード桁を設定します。最小値と最大値を同じにすると、常に一定の桁でデータを読み取るので、誤読率が低くなります。

例： 最小 = 09、最大 = 20に設定する

 キャラクター数が9から20のバーコードのみデコードします。

例： 最小 = 15、最大 = 15に設定する

 キャラクター数が15のバーコードのみデコードします。

初期値を変更する場合は、次のバーコードを使用し、最終ページから2桁の数値を読み取ってSaveします。可能な値：0-48

初期値：Minimum(最小値)= 0, Maximum(最大値)= 48

注：保存前に数字バーコードの読み取りを誤った場合は、最終ページ記載のDiscardバーコードを読み取って無効にし、正しい数字バーコードを再読み取りしてSaveします。



Minimum (Default = 0)



Maximum (Default = 48)

Code 39(続き)

Code 39 アペンド

複数のCode 39バーコードのデータを合わせて送信します。スペースで始まる複数のCode 39バーコードを、読み取った順にスキャナ本体に保存し、スペースを削除します。スペース以外のキャラクタで始まるCode 39バーコードを読み取ると、保存されていたデータを全て送信します。 初期設定：On



On

* Off



Base 32

イタリアの薬局で使われている、Code 39シンボルの一種です。PARAFとも言います。



On

* Off



企業向けシンボル

Code 39(続き)

Full ASCII(フルアスキー)

特定のキャラクタを2文字づつ組み合わせてフルアスキーに対応させます。例えば、「\$V」の組み合わせはアスキーキャラクタの「SYN」にデコードされ、「/C」は「#」になります。 初期設定 : On

NUL %U	DLE \$P	SP SPACE	0 0	@ %V	P P	' %W	p +P
SOH \$A	DC1 \$Q	! /A	1 1	A A	Q Q	a +A	q +Q
STX \$B	DC2 \$R	" /B	2 2	B B	R R	b +B	r +R
ETX \$C	DC3 \$S	# /C	3 3	C C	S S	c +C	s +S
EOT \$D	DC4 \$T	\$ /D	4 4	D D	T T	d +D	t +T
ENQ \$E	NAK \$U	% /E	5 5	E E	U U	e +E	u +U
ACK \$F	SYN \$V	& /F	6 6	F F	V V	f +F	v +V
BEL \$G	ETB \$W	' /G	7 7	G G	W W	g +G	w +W
BS \$H	CAN \$X	(/H	8 8	H H	X X	h +H	x +X
HT \$I	EM \$Y) /I	9 9	I I	Y Y	i +I	y +Y
LF \$J	SUB \$Z	* /J	:	J J	Z Z	j +J	z +Z
VT \$K	ESC %A	+ /K	;	K K	[%K	k +K	{ %P
FF \$L	FS %B	. /L	<	L L	\ %L	l +L	%Q
CR \$M	GS %C	- -	=	M M] %M	m +M	} %R
SO \$N	RS %D	. .	>	N N	^ %N	n +N	~ %S
SI \$O	US %E	/ /O	? %J	O O	_ %O	o +O	DEL %T

「/M」は「-」(マイナス)で、「/N」は「.」(ピリオド)になります。

「/P」からアルファベット順で「/Y」までは、「0」から「9」になります。



* On

Off



企業向けシンボル

インターリーブド 2 of 5

<Default All Interleaved 2 of 5 Settings> :

インターリーブド 2 of 5全ての設定を初期設定にもどします。。



インターリーブド 2 of 5



* On

Off



チェックデジット

No Check Digitは、バーコードデータ読み取り / 送信時のチェックデジットの有無に関係無く全てのキャラクタを出力します。

Validate, but Don't Transmitバーコードを使用すると、チェックデジットを含むインターリーブド 2 of 5バーコードだけを読み取りますが、チェックデジットは送信されません。

Validate and Transmitバーコードを使用すると、チェックデジットを含むインターリーブド 2 of 5バーコードだけを読み取り、データの末尾につけて送信します。

初期設定 : No Check Digit



* No Check Digit

Validate, but Don't Transmit



Validate and Transmit

企業向けシンボル

インターリーブド 2 of 5 (続き)

バーコード桁

読み取り可能なバーコード桁を設定します。最小値と最大値を同じにすると、常に一定の桁でデータを読み取るので、誤読率が低くなります。

例： 最小 = 09、最大 = 20 に設定する

 キャラクター数が9から20のバーコードのみデコードします。

例： 最小 = 15、最大 = 15 に設定する

 キャラクター数が15のバーコードのみデコードします。

初期値を変更する場合は、次のバーコードを使用し、最終ページから2桁の数値を読み取ってSaveします。可能な値：2-80

初期値： Minimum(最小値) = 4, Maximum(最大値) = 80

注：保存前に数字バーコードの読み取りを誤った場合は、最終ページ記載のDiscardバーコードを読み取って無効にし、正しい数字バーコードを再読み取りしてSaveします。



Minimum (Default = 4)

Maximum (Default = 80)



ストリクトデコード

スペックに沿ったバーコードのみを読み取ります。誤読率は低下しますが、スペックがわずかに異なるバーコードは読み取らないので、読み取り率が低下します。



On

* Off



企業向けシンボル

Code 93

<Default All Code 93 Settings> :

Code 93全ての設定を初期設定にもどします。。



Code 93



* On

Off



バーコード桁

読み取り可能なバーコード桁を設定します。最小値と最大値を同じにすると、常に一定の桁でデータを読み取るので、誤読率が低くなります。

例： 最小 = 09、最大 = 20に設定する

 キャラクター数が9から20のバーコードのみデコードします。

例： 最小 = 15、最大 = 15に設定する

 キャラクター数が15のバーコードのみデコードします。

初期値を変更する場合は、次のバーコードを使用し、最終ページから2桁の数値を読み取ってSaveします。可能な値：0-80

初期値：Minimum(最小値)=0, Maximum(最大値)=80

注：保存前に数字バーコードの読み取りを誤った場合は、最終ページ記載のDiscardバーコードを読み取って無効にし、正しい数字バーコードを再読み取りしてSaveします。



Minimum (Default = 0)

Maximum (Default = 80)



企業向けシンボル

Code 2 of 5

<Default All Code 2 of 5 Settings> :

Code 2 of 5全ての設定を初期設定にもどします。。



Code 2 of 5



* On

Off



バーコード桁

読み取り可能なバーコード桁を設定します。最小値と最大値を同じにすると、常に一定の桁でデータを読み取るので、誤読率が低くなります。

例： 最小 = 09、最大 = 20に設定する

 キャラクター数が9から20のバーコードのみデコードします。

例： 最小 = 15、最大 = 15に設定する

 キャラクター数が15のバーコードのみデコードします。

初期値を変更する場合は、次のバーコードを使用し、最終ページから2桁の数値を読み取ってSaveします。可能な値：1-48

初期値： Minimum(最小値)= 4, Maximum(最大値)= 48

注：保存前に数字バーコードの読み取りを誤った場合は、最終ページ記載のDiscardバーコードを読み取って無効にし、正しい数字バーコードを再読み取りしてSaveします。



Minimum (Default = 4)

Maximum (Default = 48)



企業向けシンボル

IATA Code 2 of 5

<Default All Code 2 of 5 Settings> :

Code 2 of 5全ての設定を初期設定にもどします。。



IATA Code 2 of 5



* On

Off



バーコード桁

読み取り可能なバーコード桁を設定します。最小値と最大値を同じにすると、常に一定の桁でデータを読み取るので、誤読率が低くなります。

例： 最小 = 09、最大 = 20に設定する

キャラクタ数が9から20のバーコードのみデコードします。

例： 最小 = 15、最大 = 15に設定する

キャラクタ数が15のバーコードのみデコードします。

初期値を変更する場合は、次のバーコードを使用し、最終ページから2桁の数値を読み取ってSaveします。可能な値：1-48

初期値：Minimum(最小値) = 4, Maximum(最大値) = 48

注：保存前に数字バーコードの読み取りを誤った場合は、最終ページ記載のDiscardバーコードを読み取って無効にし、正しい数字バーコードを再読み取りしてSaveします。



Minimum (Default = 4)

Maximum (Default = 48)



企業向けシンボル

マトリックス 2 of 5

<Default All Matrix 2 of 5 Settings> :

マトリックス 2 of 5 全ての設定を初期設定にもどします。



マトリックス 2 of 5



* On

Off



バーコード桁

読み取り可能なバーコード桁を設定します。最小値と最大値を同じにすると、常に一定の桁でデータを読み取るので、誤読率が低くなります。

例： 最小 = 09、最大 = 20 に設定する

 キャラクタ数が9から20のバーコードのみデコードします。

例： 最小 = 15、最大 = 15 に設定する

 キャラクタ数が15のバーコードのみデコードします。

初期値を変更する場合は、次のバーコードを使用し、最終ページから2桁の数値を読み取ってSaveします。可能な値：1-80

初期値： Minimum(最小値) = 4, Maximum(最大値) = 80

注：保存前に数字バーコードの読み取りを誤った場合は、最終ページ記載のDiscardバーコードを読み取って無効にし、正しい数字バーコードを再読み取りしてSaveします。



Maximum (Default = 4)

Maximum (Default = 80)



企業向けシンボル

Code 11

<Default All Code 11 Settings> :

Code 11全ての設定を初期設定にもどします。。



Code 11



* On

Off



必要チェックデジット数

Code 11バーコードに必要なチェックデジットを1つもしくは2つを選択できます。

初期設定 : Two Check Digits



One Check Digit

* Two Check Digits



Code 11(続き)

バーコード桁

読み取り可能なバーコード桁を設定します。最小値と最大値を同じにすると、常に一定の桁でデータを読み取るので、誤読率が低くなります。

例： 最小 = 09、最大 = 20に設定する

 キャラクタ数が9から20のバーコードのみデコードします。

例： 最小 = 15、最大 = 15に設定する

 キャラクタ数が15のバーコードのみデコードします。

初期値を変更する場合は、次のバーコードを使用し、最終ページから2桁の数値を読み取ってSaveします。可能な値：1-80

初期値：Minimum(最小値)= 4, Maximum(最大値)= 80

注：保存前に数字バーコードの読み取りを誤った場合は、最終ページ記載のDiscardバーコードを読み取って無効にし、正しい数字バーコードを再読み取りしてSaveします。



Minimum (Default = 4)

Maximum (Default = 80)



企業向けシンボル

Code 128

<Default All Code 128 Settings> :

Code 128全ての設定を初期設定にもどします。。



Code 128



* On

Off



< GS > 代用

EAN 128をデコードする場合、< GS >をファンクションキャラクタ 1 に変換します。

初期設定 : Off



On

* Off



企業向けシンボル

Code 128(続き)

バーコード桁

読み取り可能なバーコード桁を設定します。最小値と最大値を同じにすると、常に一定の桁でデータを読み取るので、誤読率が低くなります。

例： 最小 = 09、最大 = 20に設定する

 キャラクタ数が9から20のバーコードのみデコードします。

例： 最小 = 15、最大 = 15に設定する

 キャラクタ数が15のバーコードのみデコードします。

初期値を変更する場合は、次のバーコードを使用し、最終ページから2桁の数値を読み取ってSaveします。可能な値：0-90

初期値：Minimum(最小値)= 0, Maximum(最大値)= 80

注：保存前に数字バーコードの読み取りを誤った場合は、最終ページ記載のDiscardバーコードを読み取って無効にし、正しい数字バーコードを再読み取りしてSaveします。



Minimum (Default = 0)

Maximum (Default = 80)



企業向けシンボル

Telepen

<Default All Telepen Settings> :

Telepen 全ての設定を初期設定にもどします。。



Telepen



* On

Off



Telepen 出力

AIM Telepen Outputで、スタート/ストップパターン1を含むシンボルを読み取り、標準のフルアスキーに変換します。

Original Telepen Outputを選択すると、スタート/ストップパターン1を含むシンボルを読み取り、随意のフルアスキー(スタート/ストップパターン2)を含む圧縮された数値に変換します。初期設定 : AIM Telepen Output



* AIM Telepen Output



Original Telepen Output

企業向けシンボル

Telepen (続き)

バーコード桁

読み取り可能なバーコード桁を設定します。最小値と最大値を同じにすると、常に一定の桁でデータを読み取るので、誤読率が低くなります。

例： 最小 = 09、最大 = 20に設定する

 キャラクター数が9から20のバーコードのみデコードします。

例： 最小 = 15、最大 = 15に設定する

 キャラクター数が15のバーコードのみデコードします。

初期値を変更する場合は、次のバーコードを使用し、最終ページから2桁の数値を読み取ってSaveします。可能な値：1-60

初期値：Minimum(最小値)= 1, Maximum(最大値)= 60

注：保存前に数字バーコードの読み取りを誤った場合は、最終ページ記載のDiscardバーコードを読み取って無効にし、Minimum / Maximumと、正しい数字バーコードを再読み取りしてSaveします。



Minimum (Default = 1)

Maximum (Default = 60)



小売業向けシンボル

UPC A

<Default All UPC A Settings> :

UPC A全ての設定を初期設定にもどします。。



UPC A



* On

Off



チェックデジット

データの末尾にチェックデジットを付けて送信します。

初期設定 : On



* On

Off



ナンバーシステム

UPCシンボルのシステム番号を送信します。

初期設定 : On



* On

Off



小売業向けシンボル

UPC A(続き)

追加デジット

読み込まれた全てのUPC A データの末尾に、2桁か5桁のデジットを追加します。

初期設定 : Off

2-Digit 追加



* Off



5-Digit 追加



* Off



小売業向けシンボル

UPC A(続き)

追加デジット付きデータ

追加デジットを含むUPC A バーコードのみ、読み取ります。

初期設定 : Off



On

* Off



追加デジットセパレータ

バーコードのデータと追加デジットのデータ間にスペースを置きます。

初期設定 : On



* On

Off



ストリクトデコード

スペックに沿ったバーコードのみを読み取ります。誤読率は低下しますが、スペックがわずかに異なるバーコードは読み取らないので、読み取り率が低下します。



On

* Off



小売業向けシンボル

UPC E

<Default All UPC E Settings> :

UPC E全ての設定を初期設定にもどします。。



ほとんどのUPCバーコードは「0」のシステム番号から始まります。これらのバーコードには、UPC E0を使用します。「1」で始まるバーコードを読み取る場合は、UPC E1を使用します。

初期設定 : UPC E0=On, UPC E1=Off

UPC E0



* On

Off



UPC E1



On

* Off



UPC E拡張

UPC EコードをUPC Aシンボルの12デジットに拡張します。

初期設定 : Off



On

* Off



小売業向けシンボル

UPC E (続き)

チェックデジット

読み取ったデータの末尾に、チェックデジットを付けて送信します。

初期設定 : On



* On

Off



ナンバーシステム

UPCシンボルのシステム番号を送信します。

初期設定 : On



* On

Off



追加デジット

読み込まれた全てのUPC Eデータの末尾に、2桁か5桁のデジットを追加します。

初期設定 : Off

2-Digit **追加**



On

* Off



5-Digit **追加**



On

* Off



小売業向けシンボル

UPC E (続き)

追加デジット付きデータ

追加デジットを含むUPC Eバーコードのみ、読み取ります。

初期設定 : Off



On

* Off



追加デジットセパレータ

バーコードのデータと追加デジットのデータ間にスペースを置きます。

初期設定 : On



* On

Off



小売業向けシンボル

EAN/JAN 13

<Default All EAN/JAN 13 Settings> :

EAN/JAN 13全ての設定を初期設定にもどします。。



EAN/JAN 13



* On

Off



チェックデジット

読み取ったデータの末尾に、チェックデジットを付けて送信します。

初期設定 : On



* On

Off



追加デジット

読み込まれた全てのEAN/JAN 13データの末尾に、2桁か5桁のデジットを追加します。

初期設定 : Off

2-Digit **追加**



On

* Off



小売業向けシンボル

EAN/JAN 13(続き)

5-Digit 追加



On

* Off



追加デジット付きデータ

追加デジットを含むEAN/JAN 13バーコードのみ、読み取ります。

初期設定 : Off



On

* Off



追加デジットセパレータ

バーコードのデータと追加デジットのデータ間にスペースを置きます。

初期設定 : On



* On

Off



ISBN スキャン

ISBNのコードを読み取ります。

初期設定 : Off



On

* Off



小売業向けシンボル

EAN/JAN 8

<Default All EAN/JAN 8 Settings> :

EAN/JAN 8全ての設定を初期設定にもどします。。



EAN/JAN 8



* On

Off



チェックデジット

読み取ったデータの末尾に、チェックデジットを付けて送信します。

初期設定 : On



* On

Off



追加デジット

読み込まれた全てのEAN/JAN 8データの末尾に、2桁か5桁のデジットを追加します。

初期設定 : Off

2-Digit 追加



On

* Off



小売業向けシンボル

EAN/JAN 8(続き)

5-Digit 追加



On

*Off



追加デジット付きデータ

追加デジットを含むEAN/JAN 8バーコードのみ、読み取ります。

初期設定 : Off



On

*Off



追加デジットセパレータ

バーコードのデータと追加デジットのデータ間にスペースを置きます。

初期設定 : On



*On

*Off



小売業向けシンボル

MSI

<Default All MSI Settings> :

MSI全ての設定を初期設定にもどします。。



MSI



On

* Off



チェックキャラクタ

MSIバーコードには、種類の異なるチェックキャラクタが使われています。タイプ10またはタイプ11のチェックキャラクタを使用したMSIバーコードのみ読み取るように設定できます。 初期設定 : Validate Type 10, but Don't Transmit

Validate Type 10/11 and Transmitのバーコードを使用すると、選択したチェックキャラクタを含むMSIバーコードだけを読み取り、データの末尾につけて送信します。

Validate Type 10/11, but Don't Transmitバーコードを使用すると、選択したチェックキャラクタを含むMSIバーコードだけを読み取りますが、チェックキャラクタは送信されません。



* Validate Type 10, but
Don't Transmit

Validate Type 10 and Transmit



Validate Type 11, but
Don't Transmit

Validate Type 11 and Transmit



小売業向けシンボル

MSK(続き)

バーコード桁

読み取り可能なバーコード桁を設定します。最小値と最大値を同じにすると、常に一定の桁でデータを読み取るので、誤読率が低くなります。

例： 最小 = 09、最大 = 20に設定する

 キャラクター数が9から20のバーコードのみデコードします。

例： 最小 = 15、最大 = 15に設定する

 キャラクター数が15のバーコードのみデコードします。

初期値を変更する場合は、次のバーコードを使用し、最終ページから2桁の数値を読み取ってSaveします。可能な値：4-48

初期値：Minimum(最小値)= 4, Maximum(最大値)= 48

注：保存前に数字バーコードの読み取りを誤った場合は、最終ページ記載のDiscardバーコードを読み取って無効にし、正しい数字バーコードを再読み取りしてSaveします。



Minimum (Default = 4)



小売業向けシンボル

Plessey

<Default All Plessey Settings> :

Plessey全ての設定を初期設定にもどします。



Plessey



On

* Off



バーコード桁

読み取り可能なバーコード桁を設定します。最小値と最大値を同じにすると、常に一定の桁でデータを読み取るので、誤読率が低くなります。

例：最小 = 09、最大 = 20に設定する

 キャラクター数が9から20のバーコードのみデコードします。

例：最小 = 15、最大 = 15に設定する

 キャラクター数が15のバーコードのみデコードします。

初期値を変更する場合は、次のバーコードを使用し、最終ページから2桁の数値を読み取ってSaveします。可能な値：4-48

初期値：Minimum(最小値) = 4, Maximum(最大値) = 48

注：保存前に数字バーコードの読み取りを誤った場合は、最終ページ記載のDiscardバーコードを読み取って無効にし、正しい数字バーコードを再読み取りしてSaveします。



Minimum (Default = 4)

Maximum (Default = 48)



小売業向けシンボル

RSS-14

<Default All RSS-14 Settings> :

RSS-14全ての設定を初期設定にもどします。



RSS-14



On



* Off

小売業向けシンボル

RSS-14 Limited

<Default All RSS-14 Limited Settings> :

RSS-14 Limited全ての設定を初期設定にもどします。



RSS-14 Limited



On



* Off

小売業向けシンボル

RSS-14 Expanded

<Default All RSS-14 Expanded Settings> :
RSS-14 Expanded全ての設定を初期設定にもどします。。



RSS-14 Expanded



On



* Off

バーコード桁

読み取り可能なバーコード桁を設定します。最小値と最大値を同じにすると、常に一定の桁でデータを読み取るので、誤読率が低くなります。

例： 最小 = 09、最大 = 20に設定する
キャラクタ数が9から20のバーコードのみデコードします。

例： 最小 = 15、最大 = 15に設定する
キャラクタ数が15のバーコードのみデコードします。

初期値を変更する場合は、次のバーコードを使用し、最終ページから2桁の数値を読み取ってSaveします。可能な値：0-80

初期値：Minimum(最小値)=0, Maximum(最大値)=80

注：保存前に数字バーコードの読み取りを誤った場合は、最終ページ記載のDiscardバーコードを読み取って無効にし、正しい数字バーコードを再読み取りしてSaveします。



Minimum (Default =4)



Maximum (Default =74)

小売業向けシンボル

China Post Code

<Default All China Post Code Settings> :

China Post Code全ての設定を初期設定にもどします。。



China Post Code



On

* Off



バーコード桁

読み取り可能なバーコード桁を設定します。最小値と最大値を同じにすると、常に一定の桁でデータを読み取るので、誤読率が低くなります。

例： 最小 = 09、最大 = 20に設定する

 キャラクタ数が9から20のバーコードのみデコードします。

例： 最小 = 15、最大 = 15に設定する

 キャラクタ数が15のバーコードのみデコードします。

初期値を変更する場合は、次のバーコードを使用し、最終ページから2桁の数値を読み取ってSaveします。可能な値：0-80

初期値：Minimum(最小値) = 4, Maximum(最大値) = 80

注：保存前に数字バーコードの読み取りを誤った場合は、最終ページ記載のDiscardバーコードを読み取って無効にし、正しい数字バーコードを再読み取りしてSaveします。



Minimum (Default = 4)

Maximum (Default = 80)



PDF 417シンボル

注：以降のバーコードは、3800PDF-12のみ有効です。

PDF 417

<Default All PDF 417 Settings> :

PDF 417全ての設定を初期設定にもどします。。



PDF 417



* On

Off



バーコード桁

読み取り可能なバーコード桁を設定します。最小値と最大値を同じにすると、常に一定の桁でデータを読み取るので、誤読率が低くなります。

例：最小 = 09、最大 = 20に設定する

キャラクタ数が9から20のバーコードのみデコードします。

例：最小 = 15、最大 = 15に設定する

キャラクタ数が15のバーコードのみデコードします。

初期値を変更する場合は、次のバーコードを使用し、最終ページから2桁の数値を読み取ってSaveします。可能な値：1-2750

初期値：Minimum(最小値) = 1, Maximum(最大値) = 2750

注：保存前に数字バーコードの読み取りを誤った場合は、最終ページ記載のDiscardバーコードを読み取って無効にし、Minimum / Maximumと、正しい数字バーコードを再読み取りしてSaveします。



Minimum (Default = 1)

Maximum (Default = 2750)



PDF 417シンボル

注：以降のバーコードは、3800PDF-12のみ有効です。

GLIブロックの表示

エンコードしたデータ中に、GLIの命令信号を作成します。Onの状態では、エスケープ
キャラクタは「\」で表示し、データ中の「\」キャラクタは、「\\」に変換します。

初期設定：Off



On

*Off



スキャン診断

デコードしたメッセージの代わりに、レポートを送信します。レポートには、コード
数、データキャラクタ数、チェックキャラクタ数、発生したエラー数、デコード時のエ
ラー修正率が記載されます。初期設定：Off



On

*Off



PDF Learn Mode

PDF417を読み取るとき、読取りLEDの輝度を変え、最適な読み取り位置を知らせま
す。 初期設定：Off



On

* Off



小売業向けシンボル

注：以降のバーコードは、3800/3900PDFのみ有効です。

MicroPDF417

<Default All MicroPDF417 Settings> :

MicroPDF417全ての設定を初期設定にもどします。。



MicroPDF417



On



* Off

バーコード桁

読み取り可能なバーコード桁を設定します。最小値と最大値を同じにすると、常に一定の桁でデータを読み取るので、誤読率が低くなります。

例：最小 = 09、最大 = 20に設定する

キャラクタ数が9から20のバーコードのみデコードします。

例：最小 = 15、最大 = 15に設定する

キャラクタ数が15のバーコードのみデコードします。

初期値を変更する場合は、次のバーコードを使用し、最終ページから2桁の数値を読み取ってSaveします。可能な値：1-366

初期値：Minimum(最小値) = 1, Maximum(最大値) = 366

注：保存前に数字バーコードの読み取りを誤った場合は、最終ページ記載のDiscardバーコードを読み取って無効にし、正しい数字バーコードを再読み取りしてSaveします。



Minimum (Default = 1)



Maximum (Default = 366)

小売業向けシンボル

注：以降のバーコードは、3800/3900PDFのみ対応。

EAN・UCC Composite Symbology

<Default All EAN・UCC Composite Symbology Settings> :

EAN・UCC Composite Symbology全ての設定を初期設定にもどします。。



EAN・UCC Composite



On



*Off

Enable UPC/EAN Version



On



*Off

小売業向けシンボル

EAN・UCC Composite Symbology(続き)

バーコード桁

読み取り可能なバーコード桁を設定します。最小値と最大値を同じにすると、常に一定の桁でデータを読み取るので、誤読率が低くなります。

例： 最小 = 09、最大 = 20に設定する

 キャラクタ数が9から20のバーコードのみデコードします。

例： 最小 = 15、最大 = 15に設定する

 キャラクタ数が15のバーコードのみデコードします。

初期値を変更する場合は、次のバーコードを使用し、最終ページから2桁の数値を読み取ってSaveします。可能な値：1-2400

初期値：Minimum(最小値)= 1, Maximum(最大値)= 2400

注：保存前に数字バーコードの読み取りを誤った場合は、最終ページ記載のDiscardバーコードを読み取って無効にし、正しい数字バーコードを再読み取りしてSaveします。



Minimum (Default = 1)



Maximum (Default = 2400)

第 6 章 ビジュアルメニュー

はじめに

スキャナをPCのcomポートに接続し、ビジュアルメニューを使用してスキャナの調整をします。本体のファームウェアのアップグレード、パラメータの変更、バーコードの作成と印刷が可能です。さらに、PCに接続されていないスキャナの調整もできます。このため、1人のユーザーが企業内全てのスキャナを設定したり、保存ができます。設定内容をファイルとして保存し、e-mailに添付して配付もできますし、そのファイルをバーコードにして配ることも可能です。

必要環境：PCのシリアルポートとRS-232ケーブル、ケーブルにつなぐ電源が必要です。

ビジュアルメニューの役割

- 全ての設定を表示し、ファイルとしてPC上に保存します。
- 必要に応じて、カスタマイズできます。このユーザーズガイドに記載されているバーコードで、全てのパラメータが使用できます。
- 設定内容をバーコードにして印刷できます。
- 特定のスキャナを選択し、オフラインまたはオンラインで設定を変更できます。

ビジュアルメニューの仮設定

次のバーコードで、一時的なビジュアルメニューの設定を行います。



Visual Menu

ビジュアルメニューのインストール

1. Hand Held Productsのウェブサイト www.handheld.comへアクセスします。
2. Quick SearchのテキストボックスへVisual Menuと入力します。
3. Search Nowをクリックします。
4. Visual Menuをクリックしてパソコンへセーブしてください。
5. セーブしたフォルダーよりVisualmenu.exeをダブルクリックしてください。
6. スタートメニューから「プログラム」Visual Menu「Visual Menu」の順にクリックしてVisual Menuをスタートします。

第7章 インタフェースキー

キーボードファンクション

次の表の、ファンクションコード・HEX/ASCII値・フルアスキー"CTRL" + の関係は、スキャナと接続された全ての端末に有効です。

ファンクションコード	HEX/ASCII 値	フルアスキー "CTRL" +
NUL	00	2
SOH	01	A
STX	02	B
ETX	03	C
EOT	04	D
ENQ	05	E
ACK	06	F
BEL	07	G
BS	08	H
HT	09	I
LF	0A	J
VT	0B	K
FF	0C	L
CR	0D	M
SO	0E	N
SI	0F	O
DLE	10	P
DC1	11	Q
DC2	12	R
DC3	13	S
DC4	14	T
NAK	15	U
SYN	16	V
ETB	17	W
CAN	18	X
EM	19	Y
SUB	1A	Z
ESC	1B	[
FS	1C	\
GS	1D]
RS	1E	6
US	1F	-

「フルアスキー "CTRL" +」欄の、下から5つのキャラクタ([, \,], 6, -)は、USのみ対応しています。

各国は、5つのキャラクタで表示されます。

国	コード				
United States	[\]	6	-
Belgium	[<]	6	-
Scandinavia	8	<	9	6	-
France	^	8	\$	6	=
Germany		Ã	+	6	-
Italy		\	+	6	-
Swiss		<	..	6	-
United Kingdom	[']	6	-
Denmark	8	\	9	6	-
Norway	8	\	9	6	-
Spain	[\]	6	-

サポートされているインタフェースキー

インタフェースキー		IBM AT/XT・PS/2 及び互換機, WYSE PC/AT	IBM XTsと 互換機	IBM, DDC, Memorex Telex, Harris*
NUL	00	Reserved	Reserved	Reserved
SOH	01	Enter (KP)	CR/Enter	Enter
STX	02	Cap Lock	Caps Lock	F11
ETX	03	ALT make	Reserved	F12
EOT	04	ALT break	Reserved	F13
ENQ	05	CTRL make	Reserved	F14
ACK	06	CTRL break	Reserved	F15
BEL	07	CR/Enter	CR/Enter	New Line
BS	08	Reserved	Reserved	F16
HT	09	Tab	Tab	F17
LF	0A	Reserved	Reserved	F18
VT	0B	Tab	Tab	Tab/Field Forward
FF	0C	Delete	Delete	Delete
CR	0D	CR/Enter	CR/Enter	Field Exit/New Line
SO	0E	Insert	Insert	Insert
SI	0F	Escape	Escape	F19
DLE	10	F11	Reserved	Error Reset
DC1	11	Home	Home	Home
DC2	12	Print	Print	F20
DC3	13	Back Space	Back Space	Back Space
DC4	14	Back Tab	Back Tab	Backfield/Back Tab
NAK	15	F12	Reserved	F21
SYN	16	F1	F1	F1
ETB	17	F2	F2	F2
CAN	18	F3	F3	F3
EM	19	F4	F4	F4
SUB	1A	F5	F5	F5
ESC	1B	F6	F6	F6
FS	1C	F7	F7	F7
GS	1D	F8	F8	F8
RS	1E	F9	F9	F9
US	1F	F10	F10	F10

* IBM 3191/92, 3471/72, 3196/97, 3476/77, Telex(全モデル)

サポートされているインタフェースキー

インタフェースキー	IBM, Memorex Telex (102)*	Memorex Telex (88)**
NUL	00	Reserved
SOH	01	Enter
STX	02	F11
ETX	03	F12
EOT	04	F13
ENQ	05	F14
ACK	06	F15
BEL	07	New Line
BS	08	F16
HT	09	F17
LF	0A	F18
VT	0B	Tab/Field Forward
FF	0C	Delete
CR	0D	Field Exit
SO	0E	Insert
SI	0F	Clear
DLE	10	Error Reset
DC1	11	Home
DC2	12	Print
DC3	13	Back Space
DC4	14	Back Tab
NAK	15	F19
SYN	16	F1
ETB	17	F2
CAN	18	F3
EM	19	F4
SUB	1A	F5
ESC	1B	F6
FS	1C	F7
GS	1D	F8
RS	1E	F9
US	1F	F10

* IBM 3196/97, 3476/77, 3191/92, 3471/72,
102キーキーボード付 Memorex Telex(全モデル)

** 88キーキーボード付 Memorex Telex

サポートされているインタフェースキー

インタフェースキー		Esprit 200, 400 ANSI	Esprit 200, 400 ASCII	Esprit 200, 400 PC
NUL	00	Reserved	Reserved	Reserved
SOH	01	New Line	New Line	New Line
STX	02	N/A	N/A	N/A
ETX	03	N/A	N/A	N/A
EOT	04	N/A	N/A	N/A
ENQ	05	N/A	N/A	N/A
ACK	06	N/A	N/A	N/A
BEL	07	New Line	New Line	New Line
BS	08	N/A	N/A	N/A
HT	09	Tab	Tab	Tab
LF	0A	N/A	N/A	N/A
VT	0B	Tab	Tab	Tab
FF	0C	N/A	N/A	Delete
CR	0D	New Line	New Line	New Line
SO	0E	N/A	N/A	Insert
SI	0F	Escape	Escape	Escape
DLE	10	F11	F11	F11
DC1	11	Insert	Insert	Home
DC2	12	F13	F13	Print
DC3	13	Back Space	Back Space	Back Space
DC4	14	Back Tab	Back Tab	Back Tab
NAK	15	F12	F12	F12
SYN	16	F1	F1	F1
ETB	17	F2	F2	F2
CAN	18	F3	F3	F3
EM	19	F4	F4	F4
SUB	1A	F5	F5	F5
ESC	1B	F6	F6	F6
FS	1C	F7	F7	F7
GS	1D	F8	F8	F8
RS	1E	F9	F9	F9
US	1F	F10	F10	F10

第 8 章 ユーティリティ

テストコードIDの付加

読み取りデータの先頭に各シンボル毎に定められたIDを付加して出力させることができます。



Add Code I.D. Prefix to
All Symbolologies

Revisionの出力

現在のソフトウェアのRev.を出力します。



Show Revision

データフォーマットの出力

現在のデータフォーマットのセッティングを出力します。



Data Format Settings

Specular Effect Reduction

読み取り速度と読み取り可能いき値が増加します。

初期設定：Off



On



* Off

注：Specular effects限界値については第3章を参照してください。

第 9 章 初期設定

初期設定のリセット

スキャナの設定が確認できない場合や、工場出荷時の設定に戻したい場合に、次の Factory Default Settings バーコードを読み取ります。



Factory Default Settings

初期設定のリストです。

<i>Parameter</i>	<i>Default</i>	<i>Page</i>
Terminal I.D.	003	2-2
Keyboard Country	USA	2-4
Keyboard Style	Regular	2-5
Keyboard Modifiers	Control+ASCII Off	2-6
	Turbo Off	2-6
	Numeric Keypad Off	2-6
	Auto Direct Connect Off	2-7
<i>RS-232 Selections</i>		
Baud Rate	9600 bps	2-9
RS-232 Word Length Data Bits, Stop Bits, and Parity	7 Data 1 Stop Even	2-10
RS-232 Handshaking	RTS/CTS off XON/XOFF off ACK/NAK off	2-12
<i>Wand Emulation Selections</i>		
Wand Emulation Connection	Code 39 Format	2-13
Wand Emulation Transmission Rate	25 inches/second	2-14
Wand Emulation Polarity	Black High	2-15
Wand Emulation Idle	High	2-15
<i>PDF417 Wand Emulation Selections</i>		
Data Block Size	60	2-16
Data Between Blocks	50ms	2-17
Overall Checksum	Off	2-17

<u>Parameter</u>	<u>Default</u>	<u>Page</u>
<i>Output Selections</i>		
Scan Rate	270 scans/second	3-1
Beeper Volume	High	3-1
Beeper Tone	Normal	3-2
Scan Voting	Voting Normal	3-2
Quiet Zone	Don't Reduce	3-2
Reread Delay	Short	3-3
Good Read Delay	No Delay	3-3
Trigger Mode	Manual/Serial	3-4
Serial Trigger Time Out	0 (infinite)	3-5
<i>Data Editing Selections</i>		
Prefix	None	4-1
Suffix	None	4-1
Function Code Transmit	Enable	4-6
<i>Codabar Selections</i>		
Codabar	On	5-2
Start/Stop	Don't Transmit	5-2
Check Character	Not Required	5-3
Concatenation	On	5-4
Codabar Message Length	Min 4, Max 60	5-5
<i>Code 39 Selections</i>		
Code 39	On	5-6
Start/Stop	Don't Transmit	5-6
Check Character	Not Required	5-7
Code 39 Message Length	Min 0, Max 48	5-8
Code 39 Append	Off	5-9
Base 32	Off	5-9
Full ASCII	On	5-10
<i>Interleaved 2 of 5 Selections</i>		
Interleaved 2 of 5	On	5-11
Check Digit	Not Required	5-11
Message Length	Min 4, Max 80	5-12
Strict Decoding	Off	5-12

<u>Parameter</u>	<u>Default</u>	<u>Page</u>
Code 93 Selections		
Code 93	On	5-13
Code 93 Message Length	Min 0, Max 80	5-13
Code 2 of 5 Selections		
Code 2 of 5	On	5-14
Code 2 of 5 Message Length	Min 4, Max 48	5-14
IATA Code 2 of 5 Selections		
IATA Code 2 of 5	On	5-15
IATA Code 2 of 5 Message Length	Min 4, Max 48	5-15
Matrix 2 of 5 Selections		
Matrix 2 of 5	On	5-16
Matrix 2 of 5 Message Length	Min 4, Max 80	5-16
Code 11 Selections		
Code 11	On	5-17
Check Digits Required	2	5-17
Message Length	Min 4, Max 80	5-18
Code 128 Selections		
Code 128	On	5-19
<GS> Substitution	Off	5-19
Code 128 Message Length	Min 0, Max 80	5-20
Telepen Selections		
Telepen	On	5-21
Telepen Output	AIM Telepen	5-21
Telepen Message Length	Min 1, Max 60	5-22
UPC A		
UPC A	On	5-23
Check Digit	On	5-23
Number System	On	5-23
2-Digit Addenda	Off	5-24
5-Digit Addenda	Off	5-24
Addenda Required	Off	5-25
Addenda Separator	On	5-25
UPC Strict Decoding	Off	5-25

<u>Parameter</u>	<u>Default</u>	<u>Page</u>
<i>UPC E</i>		
UPC E0	On	5-26
UPC E1	Off	5-26
UPC E Expand	Off	5-26
Check Digit	On	5-27
Number System	On	5-27
2-Digit Addenda	Off	5-27
5-Digit Addenda	Off	5-27
Addenda Required	Off	5-28
Addenda Separator	On	5-28
<i>EAN/JAN 13</i>		
EAN/JAN 13	On	5-29
Check Digit	On	5-29
2-Digit Addenda	Off	5-29
5-Digit Addenda	Off	5-30
Addenda Required	Off	5-30
Addenda Separator	On	5-30
ISBN Enable	Off	5-30
<i>EAN/JAN 8</i>		
EAN/JAN 8	On	5-31
Check Digit	On	5-31
2-Digit Addenda	Off	5-31
5-Digit Addenda	Off	5-32
Addenda Required	Off	5-32
Addenda Separator	On	5-32
<i>MSI Selections</i>		
MSI	Off	5-33
Check Character	Validate Type 10, but Don't Transmit	5-33
MSI Message Length	Min 4, Max 48	5-34
<i>Plessey Selections</i>		
Plessey	Off	5-35
Plessey Message Length	Min 4, Max 48	5-35

<u>Parameter</u>	<u>Default</u>	<u>Page</u>
<i>RSS-14 Selections</i>		
RSS-14	Off	5-38
RSS-14 Limited	Off	5-38
RSS-14 Expanded	Off	5-39
RSS-14 Expanded Message Length	Min 4, Max 74	5-39
<i>China Post Code</i>		
China Post Code	Off	5-36
China Post Message Length	Min 4, Max 80	5-36
<i>PDF417 Symbology Selections</i>		
PDF417	On	5-41
PDF417 Message Length	Min 1, Max 2750	5-42
Show GLI Blocks	Off	5-42
Scan Diagnostics	Off	5-42
PDF Learn Mode	Off	5-43
<i>MicroPDF417 Selections</i>		
MicroPDF417	Off	5-44
MicroPDF417 Message Length	Min 1, Max 366	5-45
<i>EAN•UCC Composite Symbology Selections</i>		
EAN•UCC Composite Symbology	Off	5-46
Enable UPC/EAN Version	Off	5-46
EAN•UCC Composite Symbology Message Length	Min 1, Max 2400	5-47

第 10 章 仕様

製品の仕様

外形寸法

高さ	15.2 cm
長さ	13.5 cm
幅	7.9 cm
重量	179.2 g

光源	630 nm 可視光(赤色)LED
読み取り距離	2.5 cm ~ 20.3 cm
読み取り幅	12.7 cm(読み取り距離が17.8 cmの時)
分解能	0.127 mm(読み取り距離が8.9 cmの時)
スキャン速度	270回 / 秒
スキュー角	± 30 °
ピッチ角	± 15 °
水平速度	12.7 cm / 秒
MRD値	30% = LR/VHD, 40% = PDF
デコード速度	270 / 秒

電源電圧 5VDC ± 10%(スキャナ部)

消費電流		動作時	待機時	突入	スリープ
- 12モデル		275mA	125mA	300mA	30mA
- 13モデル		275mA	125mA	250mA	60mA
- 15モデル		500mA	265mA	1.2A	- -

周囲温度

動作時	0 ~ +50
保管時	-20 ~ +60

周囲湿度 0 ~ 95% 結露無し

落下衝撃 コンクリート面へ1.5mの位置から25回落下し、動作に異常無きこと

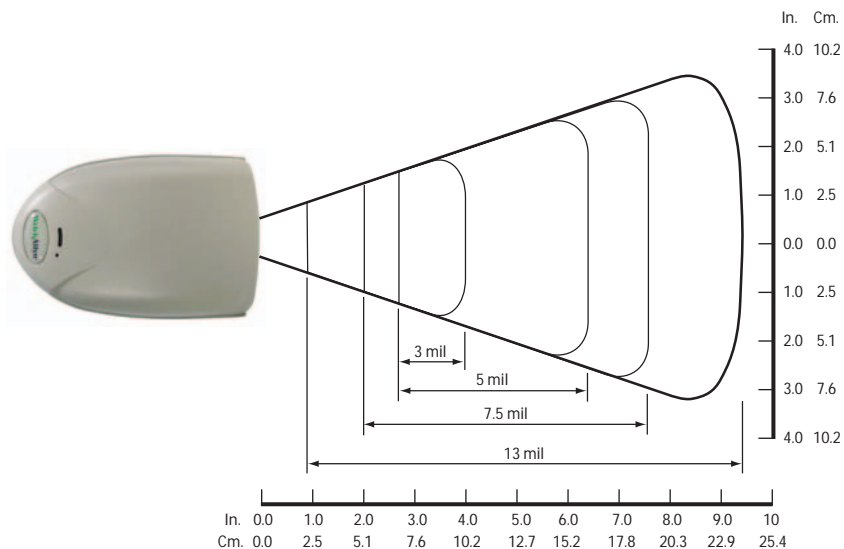
振動 20 ~ 300 Hzの5G |

ESD感度 外部表面へ15kV |

対応規格 FCC Class B, CE EMC Class B, CE Low Voltage Directive, IEC60825-1 LED Safety: Class 1, UL, cUL, TUV Certified to EN60950

IMAGETEAM 3800LR - 12 , - 13

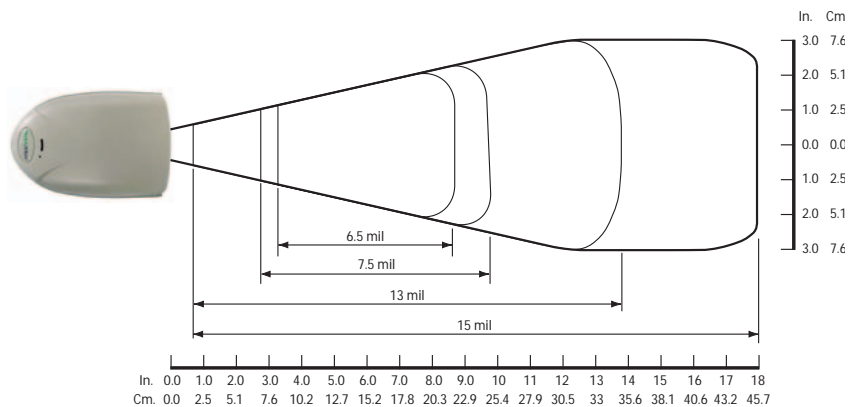
スキャンマップ リニアバーコード



IMAGETEAM 3800LX

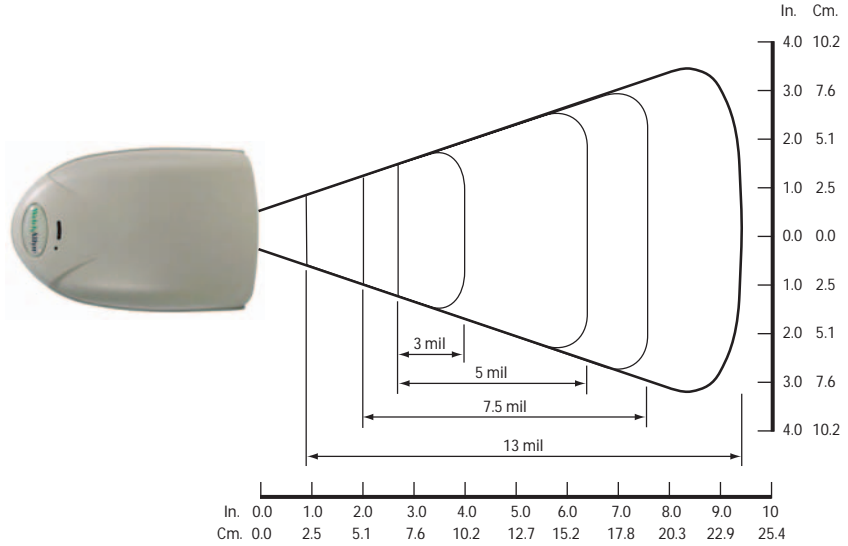
スキャンマップ

リニアバーコード



IMAGETEAM 3800VHD

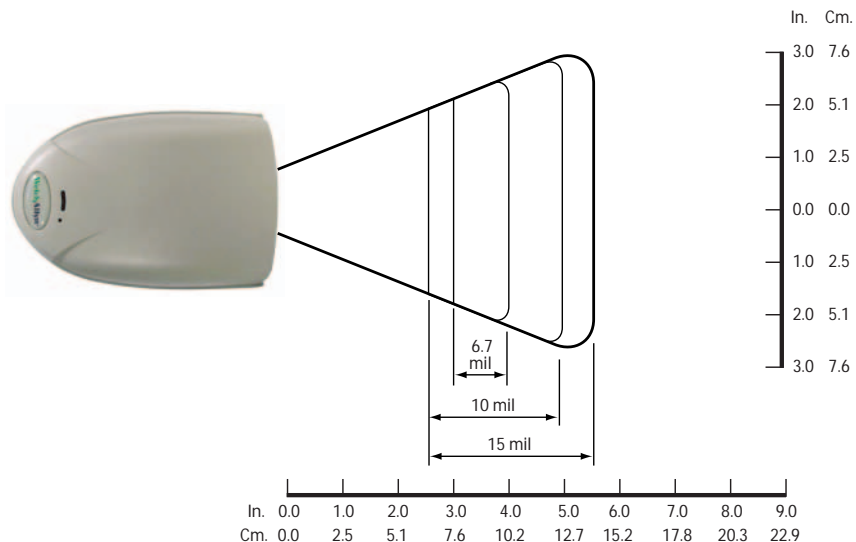
スキャンマップ リニアバーコード



IMAGETEAM 3800PDF

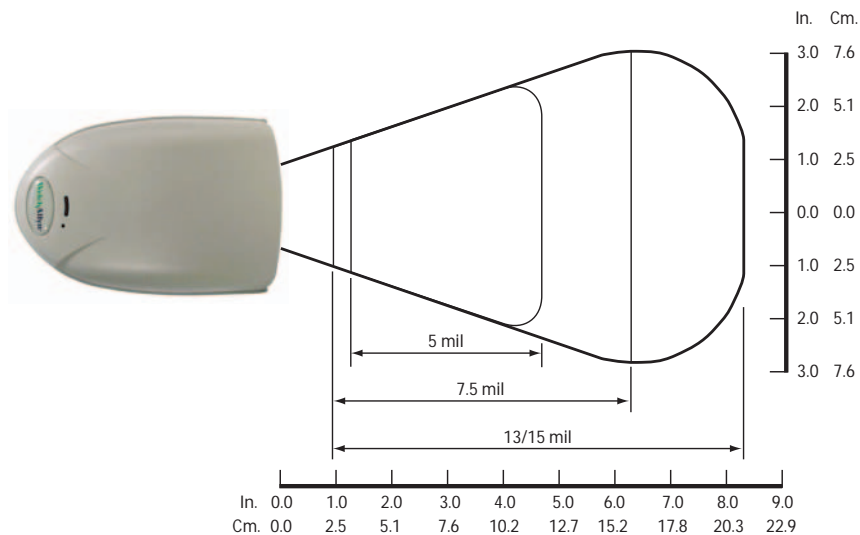
スキャンマップ

PDF 417 バーコード(3 : 1アスペクト比率)



IMAGETEAM 3800PDF

スキャンマップ リニアバーコード



ケーブル仕様

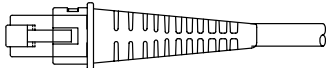
レーザー出力互換

3800LR-12

(レーザー互換バーイメージ)

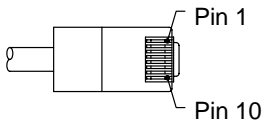
接続ケーブルは、10ピン・モジュラープラグ(P1)と、D-Sub 9ピン(P2)を使用します。これらは、全てのWelch Allyn製端末に対応しています。

P1

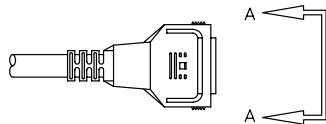


10ピン・モジュラープラグ

スキャナのハンドルに接続します。

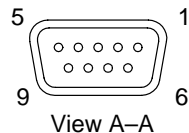


P2



D-Sub 9ピン(メス)

端末に接続します。



P1	Signal	Function	P2	
9	SOS	Start of Scan	1	
6	Data	Digital Bar Code Data Output	2	
1	Good Read	Turn on Good Read LED or Beeper	3	
7	+5VDC	5 Volt Power Connection ◆ □	9	
2	Trigger	Trigger Signal to Decoder	5	
3	Enable	Laser Enable	6	
4	Ground	Supply Ground	7	
	N/C	Braid	Cord Shield	8
			N/C ◆ □	4

◆ ピン4と9は電源電圧によって変更します。

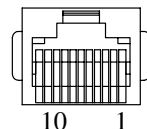
注：デコーダの4ピン、9ピンが+12Vの場合は、+5VDCに接続してください。

ケーブル仕様

キーボードウェッジ

デコードされた出力データ形式は、10ピン・RJ41モジュラーコネクタで提供されます。次の表を参照してください。

10ピン・RJ41モジュラーコネクタ



P1	Signal	Function
2	N/C	Cord Shield
3	Prog 1	
4	Ground	Supply Ground
5	Tclock	Terminal Clock
6	Tdata	Terminal Data
7	+5VDC	5 Volt Power Connection
8	Kdata	Keyboard Data
9	Kclock	Keyboard Clock

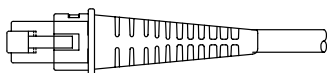
ケーブル仕様

ワンドエミュレーション

3800LR-12

従来のワンドデータ形式は、10ピン・RJ41モジュラーコネクタで提供されます。次の表を参照してください。

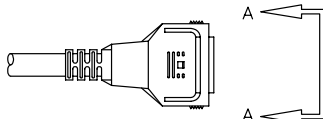
P1



10ピン・モジュラープラグ

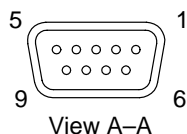
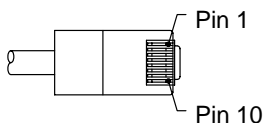
スキャナのハンドルに接続します。

P2



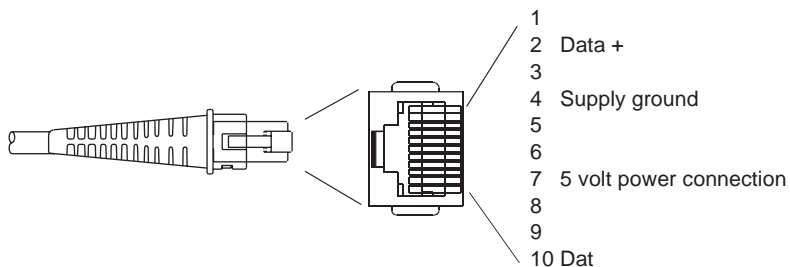
D-Sub 9ピン(メス)

端末に接続します。



P1	Signal	Function	P2
2	N/C	Cord Shield	8
3	Prog 1	Tied to 5 Volt Power	
4	Ground	Supply Ground	7
6	Barcode	Bar Code Data Output	2
7	+5VDC	5 Volt Power Connection	4

10ピン・モジュラープラグ(USB)



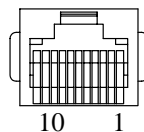
ケーブル仕様(主要インタフェースケーブル)

RS-232

3800LR-12

デコードされた出力データ形式は、10ピン・RJ41モジュラーコネクタで提供されま
す。次の表を参照してください。

10ピン・RJ41モジュラーコネクタ



P1	Signal	Function
2	Braid	Cord Shield
3	Prog	Tied to 5 Volt Power
4	Ground	Supply Ground
5	RXD	Receive Data – Serial Data to Scanner
6	TXD	Transmit Data – Serial Data from Scanner
7	+5VDC	5 Volt Power Connection
8	RTS	Request to Send Data
9	CTS	Clear to Send Data

規制・規格について

この装置は、FCC規制のパート15に適合しています。媒体について、以下の条件を許諾します。

1. 媒体は、傷害、損害を引き起こさない。
2. 不必要な操作や動作を含む、全ての行為に適應する。

FCC クラスBについて

この装置は、FCC規制のパート15に従い、クラスBデジタル機器の制限に適合するように、製品テスト済みです。これらの制限は、家庭環境での使用による障害から保護できるように設定されています。この装置は、マニュアル内の指示、手順に従わないで操作を行った場合、ラジオ電波の受信障害を引き起こすことがあります。しかし、特定の操作で、障害が起これないといった保証はありません。ラジオやテレビジョン受信機に受信障害が認められる場合は、次を参照して対処してください。

- 受信アンテナを移動する
- 媒体と受信機を離す
- 媒体と受信機のコンセントを別々にする
- お買い上げ先か、技術担当者に連絡する

警告：この装置をWelch Allyn Data Collection Inc.,が認めていない範囲で、改造もしくは分解を行った場合、使用の許諾が破棄されます。

注：FCC Rules and Regulations(規制と規格)により、媒体に接続するケーブルは、被覆されたケーブルであり、ケーブル内のワイヤは、コネクタに確実に接続されているものとします。

カナダ向けお知らせ

この装置は、カナダ通信省のラジオ電波障害規格に適合しています。



製品に付いているCEマークは、89/336/EEC Electromagnetic Compatibility Directive と73/23/ECC Low Voltage Directiveに適合し、テスト済みであることを示しています。

CEマークが無く、73/23/ECC Low Voltage Directiveに適合しない機器(電源、パーソナル・コンピュータ等)との使用には、一切の責任を負いません。

ULとcULについて

UL1950とCSA 22.2 No.950 に適合しています。

LEDについて

この装置は、EN60825-1 LED安全規格.に従ってテストされ、クラス1 LEDに適合しています。

TÜVについて

EN60950とEN60825-1に適合しています。

C-TICについて

AS/NZS 3548に適合しています。

特許

IMAGETEAM 3800は、次のアメリカ合衆国特許を取得しています。

5,831,254

その他のUS特許、他国の特許は申請中です。

プログラミング・チャート



0



2



4



6



8



1



3



5



7



9

プログラミング・チャート



A



C



E



Save



B



D



F



Discard

サンプルバーコード

UPC A



0 123456 7890

Interleaved 2 of 5



1234567890

Code 128



Code 128

EAN 13



9 780330 290951

Code 39



BC321

Codabar



A13579B

サンプルバーコード

PDF417



PDF417 Test Message

MicroPDF417



MicroPDF417 Test Message

Code 93



123456-9\$

Code 2 of 5



123456

Matrix 2 of 5



6543210

RSS-14



(01)00123456789012

**EAN-UCC Composite
Symbology with RSS Limited**



(01)12345678901231(10)123456789(11)001205(3202)001234



4619 Jordan Road
P.O. Box 187
Skaneateles Falls, New York 13153-0187